

衆議院経済産業委員会ニュース

平成 25. 6. 4 第 183 回国会第 17 号

6 月 4 日（火）、第 17 回の委員会が開かれました。

1 電気事業法の一部を改正する法律案（内閣提出第 54 号）

- ・参考人から意見を聴取し、質疑を行いました。

（参考人）（午前）東京大学社会科学研究所教授	松村 敏 弘君
東京工業大学特命教授	柏木 孝 夫君
慶應義塾大学経済学部教授	金子 勝君
公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会常任顧問	辰 巳 菊 子君
（午後）電気事業連合会会長	八 木 誠君
全国電力関連産業労働組合総連合会長	種 岡 成 一君
株式会社エネット代表取締役社長	池 辺 裕 昭君
日本商工会議所中小企業政策専門委員	清 水 宏 和君

（質疑者及び主な質疑内容）

（午前）

渡 辺 博 道君（自民）

- ・現時点において電力システム改革を進める必要性について各参考人の見解を伺いたい。
- ・電力システム改革を成し遂げた後の日本の姿について松村参考人の見解を伺いたい。

國 重 徹君（公明）

- ・電源予備率の確保の担い手及びコストの負担者について松村参考人及び柏木参考人の見解を伺いたい。
- ・電力自由化後の情報提供及び広報の在り方について辰巳参考人の意見を伺いたい。

大 島 敦君（民主）

- ・核燃料サイクルを含む原子力政策全般についてどう考えるか、金子参考人の見解を伺いたい。
- ・自然災害等に備えて送電システムのバックアップを整えておくべきと考えるが、各参考人の見解を伺いたい。

塩 川 鉄 也君（共産）

- ・本改正案においては、福島第一原発の事故や東電の改革、日本原電の在り方など原発全体の在り方・方向性が触れられておらず、法案としてのリアリティー、妥当性に欠けるものと考えているが、各参考人の見解を伺いたい。
- ・小売料金の自由化に向けて、総括原価方式を見直すとともに料金設定に係る一層の情報公開が必要であると考えるが、各参考人の見解を伺いたい。

今 井 雅 人君（維新）

- ・卸電力取引市場の活性化のための一般電気事業者への電力抛出の義務付け及び競争の促進のための基盤整備の在り方に関する各参考人の見解を伺いたい。
- ・デマンドレスポンスの実現にはスマートメーターの普及促進が必要であるが、そのために望ましい取組について各参考人の意見を伺いたい。

井坂信彦君(みんな)

- ・本改正案の改正事項や今後のスケジュール等(附則事項)について、電力システム改革を骨抜きにしたり、スピードダウンさせたりする懸念がある部分はないか。あるとすれば、それを防止するためにはどのような対策が必要か、各参考人の見解を伺いたい。
- ・発送電分離について、「法的分離」の後に「所有権分離」が実施された場合、一般電気事業者の私的財産権の侵害となるおそれはあるか。あるとすれば、どのような対応が必要となるのか、松村参考人の見解を伺いたい。

(午後)

越智隆雄君(自民)

- ・電力システム改革を進める上で、最も留意すべきこと、懸念していることや望むことなどについて、各参考人の意見を伺いたい。
- ・顧客が奪われる可能性がある小売の自由化に電気事業連合会が賛成する理由及び小売全面自由化時の安定供給の確保との整理について八木参考人の認識を伺いたい。

江田康幸君(公明)

- ・料金規制について、前倒しを含めた見直しが可能となる状況について八木参考人の見解を、また、料金規制を残す必要性について池辺参考人の認識を伺いたい。
- ・卸売電力取引所の取引量の増加のために必要な措置について池辺参考人の認識を伺いたい。

近藤洋介君(民主)

- ・発送電分離で会社が分割されることにより懸念される事項及び働く現場の不安感を払拭するために必要な協議ルールの構築について種岡参考人の見解を伺いたい。
- ・本改正案では、供給責任は発電会社ではなく送配電会社が担うことになっているが、電気事業者の立場から見て安定供給上の問題は生じないのか、八木参考人の見解を伺いたい。

今井雅人君(維新)

- ・現行制度においても地域間での電気融通は可能であるが、域外供給は僅か1事例にとどまっている。なぜ一般電気事業者の地域独占の形が崩れないのか、八木参考人及び種岡参考人の見解を伺いたい。
- ・卸売電力取引所に関して電力会社9社が自主的な取組として年間370億kWhの売り入札という目標を表明しているが、実現できるのか八木参考人の見解を伺いたい。

井坂信彦君(みんな)

- ・本改正案の附則において、法的分離の実施に向けた検討の過程で新たな課題が生じた場合に機能分離も検討する事としているが、法的分離を困難にするものとして想定される場合について八木参考人の見解を伺いたい。
- ・インフラ整備を行うに際して、現在の環境アセスメントが煩雑であり、迅速化を図るべきだと考えているか、また、具体的にどの部分を迅速化すべきかという点についての八木参考人及び池辺参考人の見解を伺いたい。

塩川鉄也君(共産)

- ・発電事業への新規参入者を増加させるために、発送電分離を電力システム改革の第1段階として行うべきだと考えているが、池辺参考人の意見を伺いたい。
- ・各消費者が使用量を把握できる電力会社からのお知らせの内訳に、原子力発電の経費を入れるべきだと考えるが、八木参考人及び種岡参考人の意見を伺いたい。